

平成28年度地域医療を志す中学生育成事業

医学部看護学部体験会が行われました

12月17日（土）、宮城県からの依頼で「平成28年度地域医療を志す中学生育成事業」として、県内の医師・看護師を目指す中学生約40名が医師・看護師の手技体験を行いました。

3グループに分かれ、心音聴診、血圧測定、心肺蘇生法を体験しました。医師・看護師の指導の下実際の医療機器に触れ、自分自身の心音を聴いたり、実際に血圧の測定をしたり、シミュレータを利用し胸骨圧迫の体験をしました。

最後は質疑応答の時間を設け、参加者からは「医師として重要なことは何か」「看護師になるのに大学か専門学校どちらに進学すべきか迷っている」といった質問がなされ、医師・看護師からアドバイスを受けると、とても真剣な眼差しで聞いていました。今回の貴重な体験を自分自身の学校生活、さらには将来に向けて活かして欲しいと思います。

心音聴診



血圧測定



心肺蘇生法

